

日本食品標準成分表の一部見直しについて

文部科学省科学技術・学術審議会資源調査分科会は、「日本食品脂溶性成分表」の見直し検討と併せて、「五訂日本食品標準成分表」の一部について見直しを行い、2005年1月24日に「五訂増補日本食品標準成分表」が

公表されました。従来の食品成分表からの主な変更点は以下のとおりです。

収載食品の一部について、見直しを行った。

穀類の小麦粉、パン類及びうどんの学校給食について、全国一元的な供給制度が廃止されたことから、削除した。

食品コードの変更はなく、下記について（欠番）と表記される。

01017 小麦粉 薄力粉 学校給食用 01022 小麦粉 強力粉 学校給食用
 01027 パン類 食パン 学校給食用 01029 パン類 コッペパン 学校給食用
 01040 うどん・そうめん類 うどん 学校給食用ゆでめん

果実類のココナッツミルクの成分値の見直しを行い、新たにココナッツウオーターの成分値を追加した。

07068 ココナッツミルク（欠番） 07157 ココナッツウオーター 追加
 07158 ココナッツミルク 追加

収載成分のうち、ビタミンA及びビタミンEについて「日本人の食事摂取基準2005年版」との整合性を確保するため、ビタミンAにおいてレチノール当量の算出方法を改めるとともに、ビタミンEにおいてこれまでの - トコフェノール当量に代えて -, -, -及び -トコフェノールの成分値を示す等収載成分項目を変更した（下表参照）。

収載成分のうち、ビタミンDの成分値の表示を整数から少数第1位に変更した。

収載成分のうち、別表としていたマンガンを本表に収載した。

五訂増補成分表脂肪酸成分表編の脂肪酸の成分値の検討の結果を踏まえ、脂肪酸の成分値を修正した。

資料の食品群別留意点について、食品に関する情報の充実等所要の見直しを行った。

（参考）五訂増補成分表で変更した収載成分項目について

成分項目等		五訂成分表（初版）	五訂増補成分表
ビタミンA	収載成分	レチノール -カロテン当量（カロテンと記載） レチノール当量	レチノール -カロテン -カロテン クリプトキサンチン -カロテン当量 レチノール当量
	レチノール当量の算出方法	$(\text{レチノール}) + \frac{1}{6} \times (\text{-カロテン当量})$	$(\text{レチノール}) + \frac{1}{12} \times (\text{-カロテン当量})$
ビタミンE	収載成分	-トコフェロール当量	-トコフェロール -トコフェロール -トコフェロール -トコフェロール

「五訂増補日本食品標準成分表」の詳細につきましては文部科学省科学技術・学術審議会資源調査分科会のWebページをご覧ください。

URL http://www.mext.go.jp/b_menu./shingi/gijyutu/gijyutu3/toushin/05031802.htm